

相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第10回）
議事要録

- 日時 2016年4月16日（土）18時00分～19時00分
- 場所 堺市民センター 1階会議室
- 出席 委員：平山会長、江田委員、諏訪委員
- 欠席 井上副会長、井川委員

- 事務局 ：小島環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長、水島環境資源部次長
循環型施設整備課：守田課長、市川担当係長、中島主任、田中主事
環境政策課：塩澤担当課長
3R推進課：宇野課長
コンサルタント：株式会社 日建設計

- 傍聴者 1名
- 配布資料
 - 参考資料1 経過報告
 - 資料1 第9回連絡会で頂いたご意見・ご要望
 - 参考資料2 計画概要の振り返り
 - 資料2-1 施設整備に関する発注仕様書と
ワークショップ（2014.11.1実施）で頂いたアクションプラン
 - 資料2-2 ワークショップで頂いたアクションプラン及び
対応方針の発注仕様書への記載イメージ
 - 資料3-1 2016年度までの相原地区連絡会検討スケジュール（案）
 - 資料3-2 今後の事業スケジュール（案）
 - 資料3-3 地区連絡会及び勉強会における今後の協議事項について

○ 開会の挨拶

小島部長より、開会の挨拶を行った。その後、事務局より配布資料と議題の確認を行なった。

1. 経過の報告

○ 経過の報告

参考資料1を用い、事務局から、第9回連絡会以降の相原地区及び他地区での経過を報告した。

(以下、質疑応答)

特に質疑は無かった。

2. 協議事項

○ 議題1 第9回連絡会で頂いた御意見・御要望について

資料1を用い、事務局から、第9回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。

(以下、質疑応答)

特に質疑は無かった。

○ 議題2 発注仕様書に反映すべき事項について

参考資料2、資料2-1、資料2-2を用い、事務局から発注仕様書に反映すべき事項について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・平山会長 法政大学、家政学院大学との防災等の協定を結んでもらいたい。本来は防災安全課などに依頼する事だが、住民の意見として聞いてもらいたい。
- ・事務局 大学との協定について、法政大学とは2013年に災害応援協定を結んでおり、災害時には大学の体育館等の施設を提供いただく事になっている。
- ・平山会長 了解した。
- ・江田委員 質問が数点ある。

参考資料2 選別・保管を行う使用済み小型家電・電子機器の内訳について、具体的にイメージが湧くような説明をしていただきたい。

- ・事務局 小型家電・電子機器は、横30cm、縦15cmの収集ボックスに入る大きさとしている。
- ・江田委員 了解した。もう1点は、資料2-2 1.【施設】安全・防災・災害時対応の発注仕様書の記載イメージについて、建築工事の(6)管理関係諸室の中に非常用コンセントを設けるとあるが、これはソーラーパネルによる太陽光発電及び蓄電などを想定しているのか。それとも、エンジンを回して自家発電するのか。ライフラインは、電気がないと水洗トイレもポンプが動かず流れない。その辺はどう考えているのか。

また、2.【施設】環境エコ対策について、見学に行ったごみ処理施設は全てソーラーパネルを付けているが、平均発電量が10kWという事だった。金額に置き換えると、年額でどのくらいのコスト減になるか、償却期間の間に投資回収できるかなど、費用対効果をお聞きしたい。次回回答でも構わない。

- ・田後循環型施設建設担当部長 次回、回答させて頂く。考えている範囲では、非常用コンセントは、蓄電池タイプや、非常用発電のバッテリーを使用するなど、色々な方法がある。ただ、何十時間の範囲でコンセントが使える程度と考えている。基本的にはどちらかの方法の採用を考えている。

ソーラーパネルも、詳しくは次回の説明とするが、基本的なメリットは、再生可能エネルギーの太陽光による発電が可能である点である。ただ、非常用発電のバッテリーにつなげる、所内電力を賄うという事は、基本的に考えていない。また、売電については、10kW程度では少ないため、そういう形にはならないと思う。

議題3 今後の事業スケジュール等について

資料3-1から3-3を用い、事務局から、今後の事業スケジュール等について説明した。

(以下、質疑応答)

特に質疑は無かった。

3. その他

事務局より、マイナンバーについて事務連絡があった。

(以下、質疑応答)

- ・平山会長 マイナンバーの提出について、本日欠席の方には連絡をしていただきたい。
- ・事務局 個別に案内する。

○ 閉会の挨拶

田後循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(19時00分 閉会)